(第1面)

# 事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0832

住 所 神奈川県川崎市川崎区池上新町3-1-4 氏 名 コストコホールセールジャパン株式会社 代表取締役 ケン テリオ 印

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

場台	を百む。)の	焼圧	により、火の	りとわり	/ 提出しよす。			
又	業者の氏 は 名	称	コストコ川	崎倉庫原	吉			
主 事 第	こる事務所に 巻所の所名	又は 地	神奈川県川崎	崎市川崎	崎区池上新町3-	-1-4		
			☑ 規則第	4条第	1 号該当事業者	<u>.</u>		
			□ 規則第	4 条第 :	2 号該当事業者	2		
該 当 の	当 す る 事 第 要		□ 規則第	4 条第:	3 号該当事業者	:		
			□ 規則第	4条第4	4 号該当事業者			
			□ 上記以忽	外の事刻	業者(任意提出	事業	者)	
主	たる事	業	大分類	I	卸売業,小売	集		
の	業	種	中分類	56	各種商品小売	業		
主 の	た る 事 内	業容	会員制 総合	合スー/	· °-			
			☑ 原油換算	算エネル	レギー使用量		1, 637	k 1
事	業者の規	模	□ 自動車の	の台数				台
					湿源の二酸化 果ガスの排出			t -CO <sub>2</sub>
				担 当	部 署 名	倉庫原	店開発部	
			担当部署	所	在 地	川崎市	市川崎区池上新町3-1-4	
連	絡	先		電話番	号	044-2	281–2752	
			I	F A X 番	<b>香号</b>	044-2	270-6921	
			メー	ールアト	ドレス			
					T			
				*	※事業者番	号		
<b>※</b>				特				
受付				記				
欄				事				
				項				

計	画	期	間			平成25 年度	~	27年度	
	効果ガスの を図るため			別添	指針様式第1	号のとおり			
	効果ガス <i>0</i> に向けた組		り量の	別添	指針様式第1년	号のとおり			
削減	効果ガスの 目標及び沿 出の量			別添	指針様式第1	号のとおり			
削減	効果ガスの 目標を達成 の内容に係	戈するた			指針様式第1 <sup>-</sup>	号のとおり			
出の	者の温室ダ 抑制等に習 る事項	効果ガク 寄与する	スの排 る措置	別添	指針様式第1 <del>-</del>	号のとおり			
	他地球温暖の貢献に係		ぞの推	別添	指針様式第1 <del>!</del>	号のとおり			
	備	考							

- 備考
- 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
   2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
   3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
   4 ※印の欄は記入しないでください。
   5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあって は、その代表者) が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

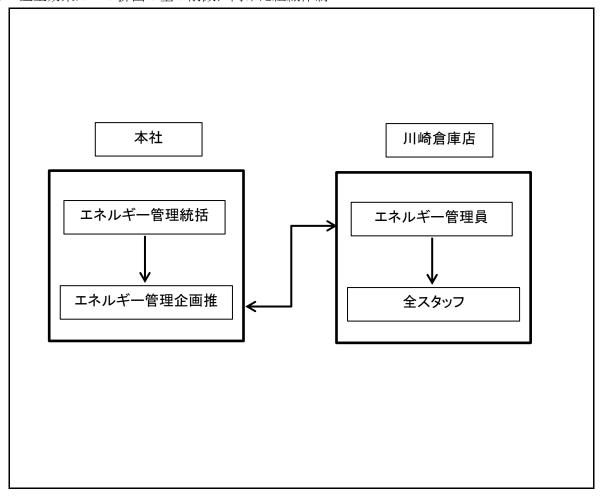
1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

#### 1事業者全体基本方針

- 以下の方針により、積極的な地球温暖化対策を進める。 (1)地球温暖化対策に関する取組みを組織的に行い、継続的に対策を推進す
- (2) 設備の更新時期に合わせ最新型の省エネ対応機器の導入を実施。
- (3) 定期的な保守点検を行い効率的な運用を行う。

川崎倉庫店においても上記の内容に沿って活動する

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



- 3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等(第1号、第2号、第4号該当者等)
- (1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

			,												
基	準		年	度		平成24	年度	目	標	4	年	度		平成27	年度
基	準	排	出	量	(実) (調)	2, 995 2, 990	t-CO <sub>2</sub>	目	標	排	出	量	(実)	2, 905	t-CO <sub>2</sub>
削		減		率	(実)	3. 0	%	削		減		量	(実)	90	t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

	10日本の土田里の中国の		
原単位の活動量	延床面積	単 位	t-CO2/m2
基準年度の値	0. 1002	目標年度の値	0. 09719
削減率	3. 0 %		
延床面積、生産数量 以外の原単位を使用 した場合の理由			

ウ 日標設定に関する老う方

9	口伤	R IX A	とに対	19 0	ワヘノ	,										
	を効果 を前提					)削減	を図る	ため、	排出:	量原単	位の信	直を年	平均で	:1%以.	上削減す	るこ

(	2)	温室効果ガスの排出の量の削減目標	(全社目標)
ļ			

- 5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項
- (1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

事業所等に係る温室効果ガスの	〇推進体制の整備   対策責任者の役割分担を明文化し、経営者による対策目標を明示する。 
排出の量の削減 を達成するため の具体的措置	〇主要設備等の保全管理 主要設備についての管理標準を作成し、それに沿って定期的な保守、点検を 実施して効率的な運用を継続する。
(第1号、第2 号、第4号該当 者等)	<ul> <li>○省エネ機器の導入</li> <li>1. 冷ケース照明のLED化を予定</li> <li>2. セールスエリアFHF照明をLED化</li> <li>3. 冷凍冷蔵設備 冷凍機をインバーター冷凍機へ入替を予定.</li> </ul>
自動車に係る温 室効果ガスの排 の量のでは の 具体的措置 (第3号該当者 等)	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績 ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

現在検討中だが具体的なる	道入予定はない	

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

<b>し推進体制の金浦</b>
本社、倉庫店に省エネルギーの担当者を配置し連絡体制を整備した
○空気調和の管理
空気調和設備の設定温度を適正にし、運転スケジュールを見直した
〇照明設備の運用管理
シフトの見直しなどで点灯時間を短くしたり、間引き点灯を実施した
フラーの発音しなこと無対時間を超くしたり、同時を無対を失慮した

3	他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項
	ナシ
	その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項
	1. クールビズやウォームビズの導入により空気調和設備のエネルギー効率の合理化をはかっている。
	2. レジ袋配布サービスの廃止を実施している。
	3. 段ボール、シュリンクラップ、発泡スチロール等のリサイクル
	3. 投水・ル、フェッファック、光泡ステロ・ル等のサッキッル

- 8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績
- (1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

Ī	(実)	2, 9	95
	(調)	2, 9	L CO9

イ 第3号該当者等

(実)	+-00
(調)	$t co_2$

#### (2) 事業所等単位(第1号、第2号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルキー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
コストコ川崎倉庫店	川崎市川崎区池上新町3-1-4	5611	総合スーパー	<b>2</b> , <b>995</b> t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

### イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7					
事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量	
				t-CO <sub>2</sub>	
				t-CO <sub>2</sub>	
				t-CO <sub>2</sub>	
				t-CO <sub>2</sub>	

#### ウ 年間の原油換算エネルキー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	

#### (3) 事業所等単位(第4号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が 3,000 t 以上(二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
<b>事未</b> /// <b>数</b>	